

6月6日 (火)

### 飯山こども園



うまっ

## おいしいうどんができたよ

「げんき会」の方や「グランドパパ・ママ会」の皆さんに教えていただきながらうどん打ち体験をしました。

年少、年中の時から慣れていたうどん打ち。「早く作りたい」と前日から力を合わせて会場の準備をし、

とても楽しみにしていました。

粉と混ぜる水を「舐めてもいいよ」と言っていたとき、水につけた指を口に入れると「塩水やー」と、子どもたちはびっくり！

その水を粉の中に入れ混ぜる時、手に粉が付くことにも、どうしてだろうと不思議さを感じながらしっかりとこねていきました。

生地を踏む時には、友達と手をつなぎ「おいしくなあれ」と魔法の言葉を掛けていました。棒で薄くのはすこと、道具を使って切ること、グツグツとうどんが踊りながらゆがかれていくこと。一つひとつの行程の難しさと面白さを感じているうちに、いよいようどんのできあがり。子どもたちの目はキラキラ輝き「おいしいー」「もう一回おかわり下さい」と、自分たちで作ったうどんをとても嬉しそうに食べていました。

普段よく食べているうどんを実際に作るという貴重な体験ができ、子どもたちの心に残る素敵なひとときとなりました。

「おいしくなあれ」



### 飯山北小学校

## 共に生きる

5年1組 大原望碧

私達、飯山北小学校五年生の「桃の里学習」(総合学習)のテーマは『みんなが幸せな町へ』いろいろな立場の人と共に生きる』です。

一学期の学習の中で一番心に残っていること



視覚障がい&誘導体験

は、アイマスクをして目の不自由な人の体験をしたことです。目が見えないことがこんなにも心細いとは思いませんでした。また、ゆう導する方も、アイマスクをしている友達がうまく階段を歩けるか心配で、ころんできましたら大変だと思い、ドキドキしながら行いました。

この勉強を通して学んだことは、障害は周りの物や環境が作り出すものだという事です。そして多くの人や自分と障がいのある人が関わっていることがわかりました。

今までシャンプーなどの横についている点々が気になっていました。それがユニバーサルデザインといって目の不自由な人がシャンプーかコンディショナーがすぐわかるようになっていくことを知り、すごい役割があるのだなあと思いました。

一学期にはパラリンピックについて学習するというので、今からとても楽しみです。

### 飯山中学校

## 体育祭を終えて

細谷 弦矢

6月3日(土)に中学校に入って初めての体育祭がありました。僕たちのクラスは、優勝することができました。

僕は環境委員だったので、土のついたイスの足をきれいにしたり、用具の準備や片付けをしたりしました。一人ひとりが確実に自分の仕事をするのが、とても大切だと思いました。

クラス全員が参加する「飯中大風神」では、みんなが気持ちを合わせてタイミングよく動くことができました。「全員リレー」では、みんなが走っている人に向かって大きな声で応援していました。

1・2・3年生男子全員で行う「エッサッサ」では、先輩の堂々とした演技に少しでも近づきたいと思い、練習を続けてきました。本番でも大きな声や力強い動きをしようと努力しました。そして、女子のダンスやムカデ競争、玉入れ、出前一丁レース、部活動や選抜のリレーなど、どの種目でもみんな頑張っていました。

全力で取り組めたことで、クラスの団結力がさらに高まったと思います。また、良い結果が出たことも、とてもうれしかったです。

体育祭を通して、学級のみならず仲良くなれたと思います。次は、屋島集団宿泊学習があります。屋島でもさらによい仲間になれるように協力していきたいです。



おっかれ〜

きたこみん